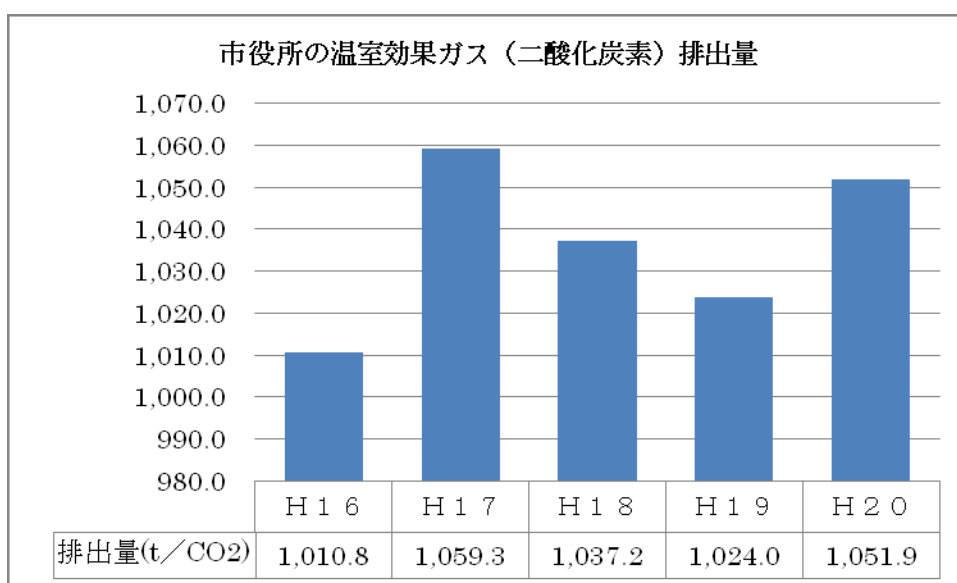


市役所の温室効果ガス（二酸化炭素）の排出状況

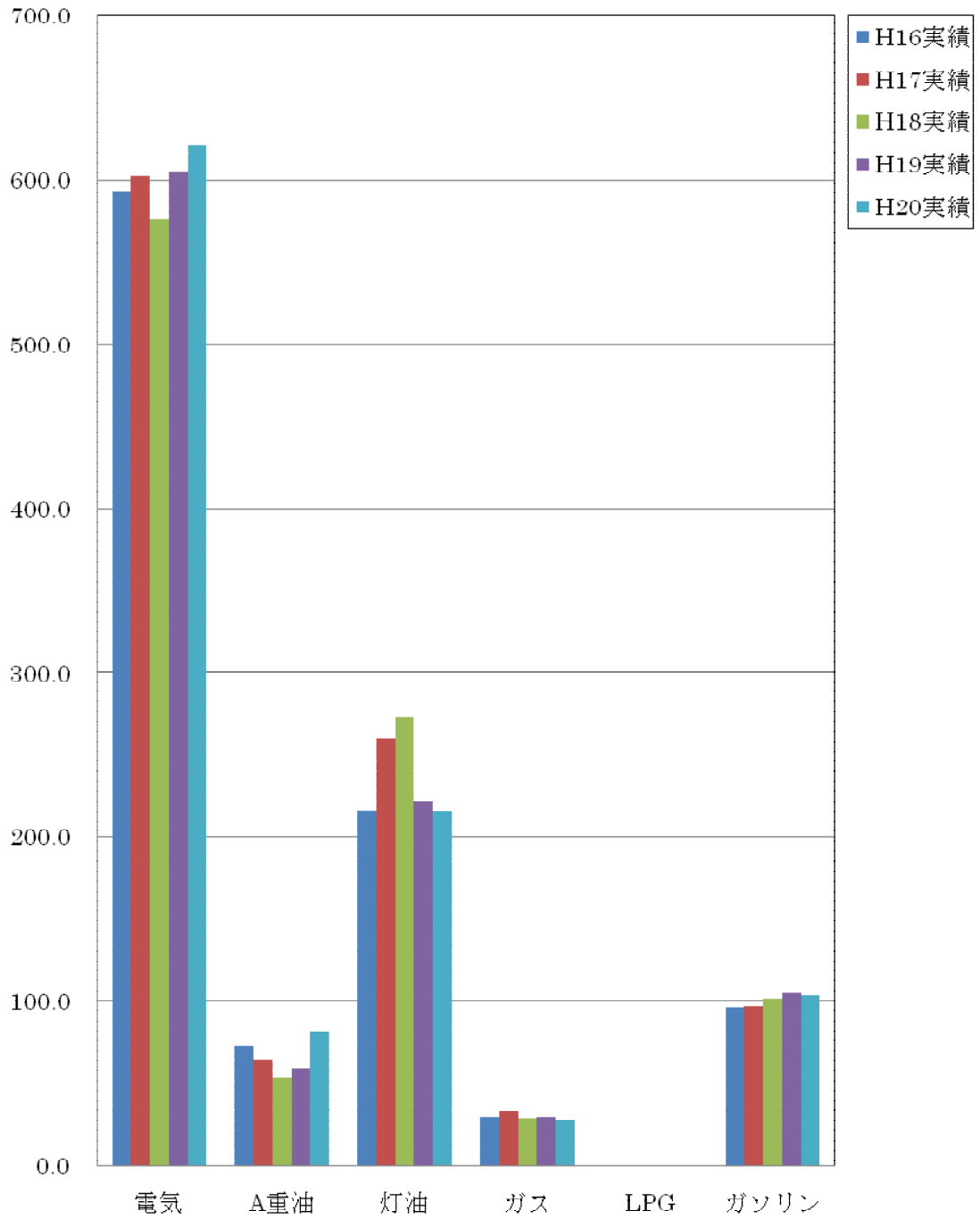
平成 16 年の合併年度を基準年としてみますと平成 17 年度は大きく増加してしまいましたが、職員等の更なる取り組みにより平成 18 年度、19 年度は順調に温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を抑えることができました。

しかし、20 年度は OA 機器の増加に伴い中型コンピューターを増設したため電気の使用量が増えた結果、温室効果ガス（二酸化炭素）排出量も増加してしまいました。

年度別の排出量



温室効果ガス（二酸化炭素）排出量（種別）



(単位:t)

	電気	A 重油	灯油	ガス	LPG	ガソリン
H16 実績	593.5	73.2	216.4	30.0	0.9	96.8
H17 実績	602.6	65.0	260.3	33.3	0.8	97.3
H18 実績	576.7	54.2	273.7	29.4	0.9	102.4
H19 実績	605.2	59.6	222.2	30.5	0.9	105.6
H20 実績	621.1	81.3	216.0	28.0	1.0	104.5

温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量を種類別に見ると、電気と灯油で排出量の大半を占めています。

このことから、全体の排出量を削減するには、特に排出量の多い電気、灯油等の使用を重点に見直し、地球温暖化防止に向けて全市民ができることから実施することが大切です。